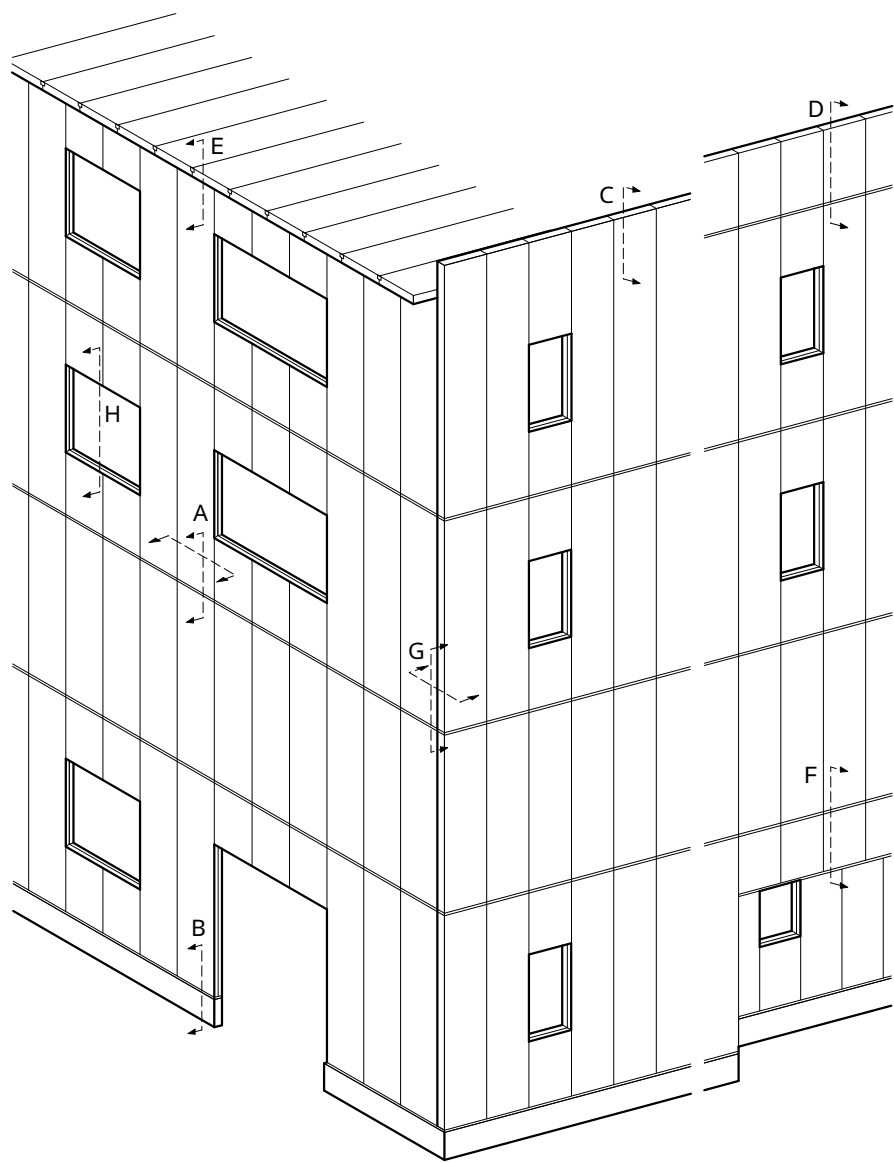


縦壁H D R構法（一般用）

縦壁H D R構法(一般用)キープラン



取付け金具はヘーベルテクニカルハンドブックをご参照ください

縦壁H D R構法（一般用）特記および注（詳しくはヘーベルテクニカルハンドブックをご参照ください）

特1：標準構法図中の色文字は別途工事を示す

注1：耐火目地材：横目地、出隅、入隅部、伸縮目地や軒まわりなどの目地で、耐火構造・断熱など必要な場合は、指定された耐火目地材を充てんする

注2：P U B金具：開口部周辺のパネルをP U B金具で取付ける場合、パネル長さ1,500mm以下で、負の風圧力2,000N/m2以下の場合に使用できる
ただし、はね出しで使用する場合は、所定の許容荷重以下であることを確認する

注3：絶縁材=床取り合い部では、モルタルがパネルのロッキングを拘束しないように、パネルとモルタルの間に全長にわたって絶縁材を設ける

注4：Rスパーサーは、厚さ100mm(意匠パネル100mm、125mmを含む)の場合に限り、丸タイプを使用することができる。ベースクリップを使用する場合は、角タイプを使用する

注5：平パネル厚さ150mmの場合、自重受け金具を取付ける定規アングルはL-75×75×6を使用する。またパネルと躯体とのクリアランスは45～50mmとする

注6：ベースクリップ：1階の基礎部には、アンカー筋と定規アングルの溶接のために、ベースクリップを使用することができる